

科目名 ナンバリングコード	家族看護学 NUS3182MN3	必修科目	2 年次 2 学期	講義・演習	1 単位			
科目責任者	医学部看護学科 准教授 桐明 あゆみ							
科目担当者	医学部看護学科 加藤 陽子、姫野 深雪、藤好 貴子、孫田 千恵							
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 家族看護の発展の歴史を理解し、家族看護における看護の役割、家族アセスメントの視点および家族全体の QOL の向上に資する援助の方法について学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 家族の多様性について理解できる。 2) 家族を捉える諸理論(家族発達理論 家族ストレス対処理論 家族看護理論)について理解できる。 3) 家族看護理論に基づく家族アセスメントの方法が理解できる。 4) 健康問題をもつ家族の事例演習をとおして家族に対する援助の方向性を考察できる。</p>							
授業計画								
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間				
第 1 回	家族看護学 定義と変遷	桐明【講義】	第 1～第 4 回の予習については、テキストの該当箇所を熟読してくる。第 1 回から第 5 回の復習については、エクササイズを課す。期限までに提出すること。	予習、復習については、各回 30 分から 1 時間程度				
第 2 回	家族ヘルスケア諸理論(家族発達理論と家族ストレス対処理論)	桐明【講義】						
第 3 回	家族システム理論(カルガリー式家族看護モデルについて)	桐明【講義】						
第 4 回	家族アセスメントの視点(構造面のアセスメント/ジェノグラムとエコマップの作成)	桐明【講義】						
第 5 回	家族アセスメントの視点(発達・機能面のアセスメント/円環的コミュニケーションパターンについて)	桐明【講義】						
第 6 回	健康問題を持つ家族に対する介入(カルガリー式家族介入モデルについて)	桐明【講義】						
第 7 回	母性看護学における家族看護	加藤【講義】						
第 8 回	小児看護学における家族看護	藤好【講義】						
第 9 回	高齢者看護学における家族看護	桐明【講義】						
第 10 回	健康問題をもつ家族の事例演習(オリエンテーションとテーマ決定)	桐明・姫野・孫田【演習】						
第 11・12 回	健康問題をもつ家族の事例演習	桐明・姫野・孫田【演習】						
第 13・14 回	健康問題をもつ家族の事例演習 プレゼンテーション	桐明・姫野・孫田【演習】						
第 15 回	まとめ及び事例演習のフィードバック	桐明・姫野・孫田【講義】						
テキスト	小林奈美 グループワークで学ぶ家族看護理論 カルガリー式家族看護モデル実践へのファーストステップ 第 2 版 医歯薬出版 2011							
参考書	鈴木和子 渡辺裕子 佐藤律子 家族看護の理論と実践 第 5 版 日本看護協会出版会 2019							
成績評価								
方法(割合)	基準							
筆記試験(60%)	到達目標に対する達成度を、試験問題に対する正答率で評価する。							
演習評価(30%)	演習における課題の達成度を、演習評価、レポートの記載内容から評価する。							
出席状況・態度(10%)	講義、演習に対する参加姿勢を、出席状況と講義・演習後回収する感想や意見をポイント化し、評価する。							
課題(レポート等)	に対するフィードバック 課題(レポート)は、正答を示すと共に採点后、返却する。							

科目名 ナンバリングコード	災害看護学 NUS2192MN3	必修科目	2 年次 1 学期	講義・演習	1 単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 三橋 睦子				
科目担当者	医学部看護学科 孫田 千恵、専任教員 2 名				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害時に備えた心構えと看護の方法を学ぶ。 2) 被災時に必要な地域および被災者へのケアやマネジメントについて学ぶ。 3) 災害時の安全なケア環境の提供について学ぶ。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害の種類に応じて適切な身の安全の守り方と備え、地域防災計画、支援体制について理解できる。 2) 災害時の医療救護活動の基本である CSCATT および災害サイクル各期の看護について理解できる。 3) 避難所における被災者の特徴や要配慮者への看護、ボランティア活動について理解できる。 4) 災害時の被災者及び援助者の心理と援助について理解できる。 5) 災害時における各種医療支援チーム、危機管理支援チームと看護の役割を理解できる。 6) 限られた資材と人材で、適切なトリアージと救護処置、避難行動支援を行うことができる。 7) 被災状況が及ぼす健康への影響を理解し、災害看護活動の場における生活への援助、身体的・精神的健康管理について理解できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第 1 回	災害発生時の社会の対応やしきみ	三橋【講義】	講義初めに、 復習としてのミ ニテストを行う ため、各回の 配布資料やテ キストで復習 をすること。	各回 60 分 程度	
第 2 回	災害種類別疾病構造、身を護るスキル	三橋【講義】			
第 3 回	医療救護活動のシステムと役割 (CSCATT)	三橋【講義】			
第 4 回	災害・災害看護の歴史、病院における災害看護	三橋【講義】			
第 5 回	災害サイクル各期の健康問題と看護	三橋【講義】			
第 6 回	被災状況が及ぼす健康への影響、慢性疾患	三橋【講義】			
第 7 回	避難所、福祉避難所、応急仮設住宅等での生活と看護	三橋【講義】			
第 8 回	被災地での生活支援 (食事・排泄・睡眠)	三橋・孫田・専任教員【演習】			
第 9 回	災害時に必要な技術：トリアージ	三橋・孫田・専任教員【演習】			
第 10 回	災害時要配慮者とボランティア活動	三橋【講義】			
第 11 回	災害時に必要な技術：搬送、治療、三角巾法	三橋・孫田・専任教員【講義・演習】			
第 12 回	被災者、救護者のストレスと心のケアについての理解	三橋【講義】			
第 13 回	災害シミュレーション：避難所設営	三橋・孫田・専任教員【演習】			
第 14 回	災害における連携と備え	三橋【講義】			
第 15 回	災害看護における倫理	三橋【講義】			
テキスト	1) 酒井明子、菊池志津子 (編) : 災害看護、南江堂、2021、改訂第 3 版				
参考書	1) 黒田裕子、酒井明子 (編) : 災害看護、メディカ出版、2021、第 4 版 2) 浦田喜久子、小原真理子 (編) : 災害看護学・国際看護学、医学書院、2017、第 3 版 授業中にその都度紹介する。				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
筆記試験 (80%)	到達目標の達成度を、試験問題の正答率で評価する。				
演習の参加 (10%)	演習への参加を必須とする。				
レポート課題 (10%)	合計 60 点以上を合格とする。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック	採点后必要に応じてフィードバックする。				

科目名 ナンバリングコード	国際看護学 NUS3118MN4	選択科目	2年次 1学期	講義・演習	1単位	
科目責任者	医学部看護学科 准教授 桐明 あゆみ					
科目担当者	国際交流センター長 与小田 隆一（文学部） 非常勤講師 小川 里美（日本赤十字九州国際看護大学）					
教育目標 到達目標	<p>教育目標 看護職者として国際的視野をもって、世界の人々の健康問題とその保持・増進に向けて活動する国際機関・国際協力の仕組みについて学び、現状と課題について考えることができる能力を養う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際看護の捉え方について、国際保健やグローバルヘルスとの関連から説明できる。 2) 国際交流の実際を知り、異文化を理解することの意義を説明できる。 3) 世界における疾病構造・健康問題、関連する経済的な状況を理解できる。 4) 国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組みを説明できる。 5) ミレニアム開発目標、持続可能な開発目標について理解できる。 6) 世界の人々の健康問題を捉え、看護職者が果たすべき役割について述べるができる。 					
授業計画						
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間		
第1回	国際看護とは（国際看護の概念・歴史） 文化に対する理解と看護実践	桐明【講義】	実施した授業内容の復習と次回授業への準備学習の課題	各回 30分程度		
第2回	異文化理解 久留米大学の国際交流事業	与小田【講義・演習】				
第3回	グローバルヘルス 世界の疾病構造、健康問題	桐明【講義・演習】				
第4回	国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組み ミレニアム開発目標と持続可能な開発目標について	桐明【講義】				
第5・6回	国際看護活動の実際 紛争や難民といった国際的な課題に対して看護が果たす役割について	小川【講義】	国際社会の状況を良く把握して講義にのぞむこと			
第7・8回	国際看護活動の現状と課題（グループワークとプレゼンテーション・意見交換）	桐明【講義・演習】				
テキスト	特定のテキストは使用しない。					
参考書	森 淑江他 編集 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために 初版 南江堂 2019 近藤 麻理 知って 考えて 実践する 国際看護 第2版 医学書院 2018					
成績評価						
方法（割合）			基準			
筆記試験（50%） 出席状況を含む授業への参加度（ディスカッション等）（50%）			知識を踏まえたうえで自身の考えを論理的に記述できているか到達目標への達成度を授業へ参加する姿勢（意見、質問等）及びレポート内容をポイント化し、評価する。			
課題（レポート等）に対するフィードバック		課題（レポート等）は評価内容を講義時間内に伝える。				